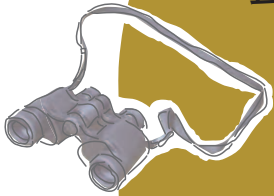


鳥たちとの日々

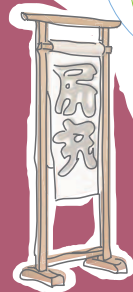
「野鳥の会です」と言ったとき、一番聞き返されるのは、「紅白歌合戦のアレ?」です。でも実際には、鳥の数をカウントする、というよりはさまざまな種類の鳥たちをじっくり観察したり写真を撮ったりすることが活動の中心です。野鳥の会は1968年から続く伝統あるバードウォッチングサークルで、実は義塾では唯一の、生物系のサークルです。したがって初めからみんな鳥鳥鳥!というわけではなく、生き物好き、インコ好き、もふもふ好きなど多様なメンバーが、部から貸し出す図鑑や器材をもとに、少しずつ経験を積んでいきます。焼き鳥も食べます。47年続く歴史の厚みの分だけOB・OGとのつながりもあります。まったりと長く現役の趣味として楽しんでいらつしやる方々とマニアックなお話ができるところも、わがサークルならではの楽しいところです。都会の喧騒を離れ、休日は鳥たちの声に耳を傾けてみませんか。ブログでは、さらに詳しい活動の様子を更新しています。

<http://keiokwce.xblog.jp/>

野鳥の会



サークル NOW



“モットーは 一笑懸命”

落語研究会



今時の若者がまず手を出すことのない「落語」。華やか過ぎる大学生活をその落語で塗りつぶす集団、それが落語研究会です。落語研究会の口演舞台は多岐にわたります。三田祭・矢上祭はもちろん、地域の公的施設、全国の福祉施設、宮城県の仮設住宅、海外の路上……。着物だけ持って落語口演をしながら地方を旅する企画には、春と夏の長期休暇に部員全員が参加します。また、コントや漫才も行います。寄席形式の三田祭・矢上祭口演の演目は、落語とほぼ同じ割合がコントと漫才で埋まっています。今年是有志の部員たちがキングオブコントやM-1といったコンテストにも出場しています。

「こんな大学生活はステキーさて、どんな大学生活?」という大喜利に答えなどありません。その大喜利に、われわれは【笑いの力】をもって毎日全力で答えています。このような日々の稽古・鍛錬の結果を披露する三田祭口演。毎年2600人以上の方にお越しいただいています。ぜひ、立ち寄ってみてください。